

平成 29 年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 南幌町商工会 経営発達支援委員会
2. 開催日時 平成 30 年 3 月 15 日 (木) 13 時 00 分
3. 開催場所 南幌町商工会館 2 階 研修室 A
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 南幌町産業振興課 課長 柿崎 納
北海道商工会連合会 組織経営支援部
企業支援課兼広域支援課 主幹 大山信幸
 - (2) 商工会 会 長 内田一之
副 会 長 松田保則 和田 修
部 会 長 吉田義哉 (工業) 細川義雅 (サービス業)
事務局長 渡邊英俊
経営指導員 長谷川次人

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、内田商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、別紙資料に基づき平成 29 年 3 月 17 日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業について説明を行った。

(2) 平成 29 年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会により PDCA を機能させていくことを説明した。

平成 29 年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業と経営発達支援事業評価シートを別紙資料に基づき説明した。

◆平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告書

I 事業計画策定支援

具体的事業内容

①創業セミナー・個別相談会 (9/12)

専門家によるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー9名 個別相談会 1名

- 成果等
- ・創業に関する基礎知識が習得できた。
 - ・事業計画策定の重要性を理解した。
 - ・町内に創業予定者がいることが分かった。

②事業承継セミナー・個別相談会（10/18）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー10名 個別相談会0名

成果等 ・事業承継に関する基礎知識が習得できた。
・事業承継を検討している企業を把握し、フォローアップできる。

③販路開拓支援セミナー・個別相談会（11/22）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー7名 個別相談会1名

成果等 ・販路開拓に関する基礎知識が習得できた。
・売上アップにつながる月次計画策定の必要性を理解した。

Ⅱ新たな需要の開拓に寄与する事業

具体的事業内容

①なまらいっしょ北海道フェア 2017 出展（11/4・5）

主催者 北海道商工会連合会

場 所 東京都三軒茶屋ふれあい広場

来場者 22,000人（8,000/14,000）

出展者 2社（株）サッポロ麺匠、（有）燻製工房ハントヴェルク）

支援者 職員2名

成果等 ・客の反応がストレートに伝わった。
・東京の消費行動がある程度把握できた。
・商品の改良や改善につながる。
・新たな商談会の出展につながった。

②商工会ホームページ作成（<http://nanporo.jp/>）

販路開拓支援のため、スマホに対応したHPを作成しました。2月完成。
掲載事業者～16件（目標10件）でした。

内訳～飲食関係10件、食品製造関係5件、食肉加工関係1件

成果～取扱商品や様々な情報を発信することで、顧客や売上げ増加につながります。

Ⅲ経営指導員等の支援能力向上

具体的事業内容

①伴走型支援の円滑な実施に向けたノウハウ向上の取組み（6/9）

内容～伴走型小規模事業者支援推進事業に係る経理、事務処理と効果的な支援事例についての研修

参加～職員2名

成果～伴走型小規模事業者支援推進事業の円滑な実施のため、全国の効果的な支援事例の習得や事務処理、経理処理手続き等研修した。

(3) 平成 30 年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成 30 年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

柿崎委員～事業評価シートの自己評価の判定の根拠は。

事務局 ～目標数値と実績値を比較して評価しました。

大山委員～各委員の意見等を参考にして事業を組み立てて実施していく。

経営発達につながる個社支援に沿った事業を取組むこと。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、支援委員会を閉会した。

時に 13 時 50 分